



その人、ホンモノ？

信じていいの？ネットの友だち



みなさんには、オンラインゲームやSNSで仲良くなったネットの友だち、「ネット友」はいますか？実は小中高生の間では、ネット友との「出会い系被害」が多く起きているのです。ゲームやSNSと一緒に楽しんでいたはずが、事件やトラブルに発展してしまうこともあります。ネット上で出会った人とゲームやSNSで交流することでどんな“危険”に巻き込まれる可能性があるのか学び、普段からどのようなことを心がけるべきなのか考えてみましょう！

オンライン上での出会いがキッカケに！

ゲームと一緒にやった、SNSで悩みを聞いてくれた...ネット上ではたくさんの出会いがあります。オンラインゲームの中では、SNSでチームメンバーを集めて、知らない人と一緒にプレイすることがあたりまえに行われています。「オンライン上でゲームを一緒にするだけ」と考えていても、そこには危険が隠れているかもしれないのです。

みなさんに不信感を与えずに近づく手段としてネットを利用し、あなたと繋がろうとする**犯罪者**が隠れていることもあるのです。顔が見えないネットだからこそ、慎重になりましょう！



どうして送ってしまうの？



オンライン上で一緒に戦ったり遊んだりするうちに、相手のことを「仲間だ！」と思うようになり、チャットやメッセージでプライベートなことも話す人もいます。そのうち、相手を感じたところに相手の写真が送られてきて、「あなたの顔も見せて」などと言われ、断れずに写真を送ってしまう子もいます。そして「会って遊ぼう！」などと言われ、会いにいってしまう人もいます。でも、ネット上の知らない相手と会うことは危険です。最初から**目的はゲームでなく「あなた」**である場合もあるのです。あなたが信じた人がホンモノの友だちか、見分けることは本当に難しいのです。



直接会っていなくても、キケン！？

ボイスチャット機能とよばれる「相手と通話をしながらゲームができる機能」で

起こったのが、**個人情報の流出**です。ゲームをしながらつい自分のことを話してしまったり、相手に聞かれるままに自分の名前や年齢、学校、住んでいる地域などの個人情報をしてしまうことで住む場所を特定されたケースもあります。SNSでは、投稿した情報から個人情報を特定されることも。個人情報を悪用して、わいせつな写真を自撮りさせられ、送ってしまった結果、ネット上にばらまかれたり、脅迫されたりする**性画像の被害**が男女関係なく起こっています。



「ネットの友だち」にだまされないために...

ネット上で見知らぬ人と知り合う機会はたくさんあります。でも、「危険な出会い」になって一生後悔するかもしれないのです。

ネットにはたくさんのウソもあります。

「自分は大丈夫」ではなく、自分で自分を守りましょう！

STOP! ネットいじめ

「ネットいじめ」とは？

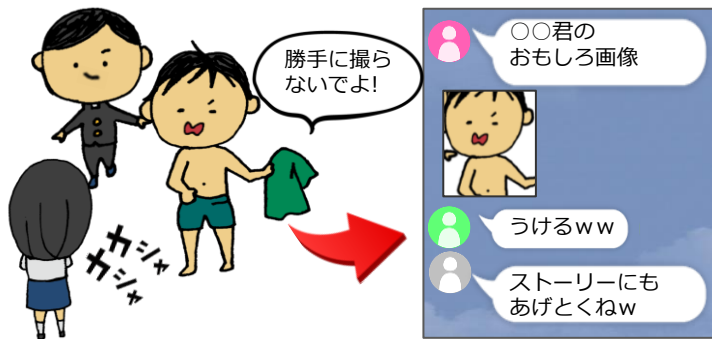
「ネットいじめ」とは「SNS」「メッセージアプリ」「ゲームアプリ」などを使って、他の人の心を傷つけたり、こわがらせたり、おどしたりするいじめのことです。外部から見えないところでネットいじめが行われることも多く、周りの人は気付にくいこともあります。中には自分が知らないところで、知らないうちに「自分がネットいじめにあっていた。」なんてことも…。学校からはなれても、常にネット上でいじめが続いてしまうことから、精神的なダメージはとても大きく、直接行なわれるいじめと同様に深刻な結果を招いてしまうこともあります。ネットいじめについて知り、「ネットいじめゼロ」の学校をみんなで一緒に作っていきませんか？



あなたの身近で起こっていませんか？

「メッセージアプリ」や「SNS」で…

- ・ 仲間はずれや無視
- ・ かくしどりの写真や動画の投稿
- ・ はずかしい写真などの共有や拡散
- ・ なりすましアカウントの投稿行為など



「ゲームアプリ」や「掲示板」で…

- ・ 特定の相手への悪口や言葉による暴力
- ・ 他人の個人情報をもらす書き込み
- ・ 悪意のある意地悪な書き込み
- ・ 脅迫（きょうはく）など



みなさんに知っておいてほしい大切なコト

⚠ 一生消えない…「ネットいじめ」は立派な犯罪！

ネット上への書き込みや投稿画像は、一度投稿すると完全に削除することは難しいもの。半永久的に残り続け、被害者は一生傷つく事になります。相手が不登校になったり、ひどい場合は死に追いやってしまうと「加害者」から「犯罪者」となり自分の人生も壊してしまいます。

⚠ 「匿名」で書いても必ずバレます

ネットの世界を「匿名の世界」だと思っていませんか？実は、匿名で投稿しても、書き込みをした人を特定する事ができるのです。悪質なネットいじめや脅迫、殺人予告などの書き込みは、場合によっては警察が動く事態となり、罪に問われることもあります。「ネットだから大丈夫だと思った」などの言い訳は通用しませんし、冗談や悪ふざけではすまされません。ネット上への書き込みは重い責任を負うのです。

⚠ 見て見ぬフリはやめよう

友だちがネットいじめにあっているかも？と思った時は、可能であればスクリーンショットなどの証拠を残し、信頼できる周りの大人や先生にすぐに相談して下さい。見て見ぬフリをするのは、いじめをしている加害者と同じです。友だちに「大丈夫？」と声をかける勇気を持ちましょう！



気づかないフリ、もうやめよう！
「ネットいじめ」は、みんなでなくせる！

